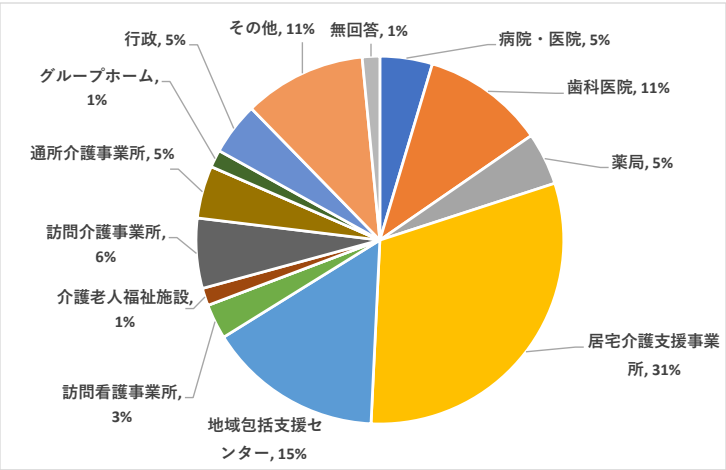


令和2年度 第1回 ほたる多職種研修会

令和2年10月27日（火） 19:00～20：30
スローガン：「在宅での食支援を学ぼう！」～食べることを地域全体で支援する～
参加者：87名 アンケート協力者：65名 回収率：73%

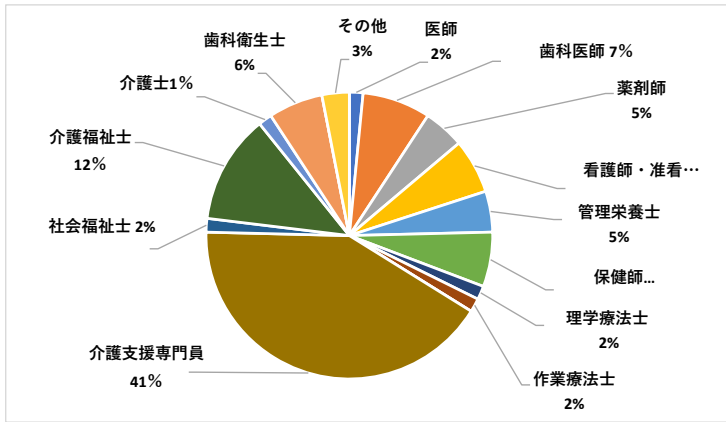
所属

病院・医院	3
歯科医院	7
薬局	3
居宅介護支援事業所	20
地域包括支援センター	10
訪問看護事業所	2
介護老人保健施設	0
介護老人福祉施設	1
訪問介護事業所	4
通所介護事業所	3
介護保健施設	0
グループホーム	1
行政	3
その他	7
無回答	1
合計	65



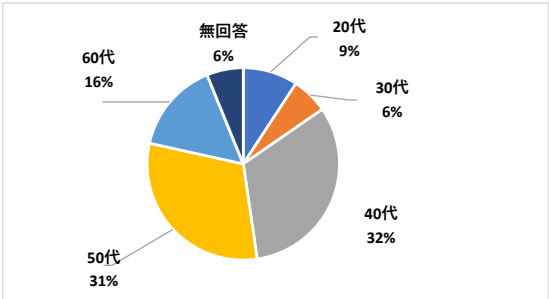
職種（複数回答）

医師	1
歯科医師	5
薬剤師	3
看護師・准看護師	4
管理栄養士	3
保健師	4
理学療法士	1
作業療法士	1
言語聴覚士	0
介護支援専門員	27
社会福祉士	1
介護福祉士	8
介護士	1
歯科衛生士	4
MSW・相談員	0
その他	2
無回答	0
合計	65



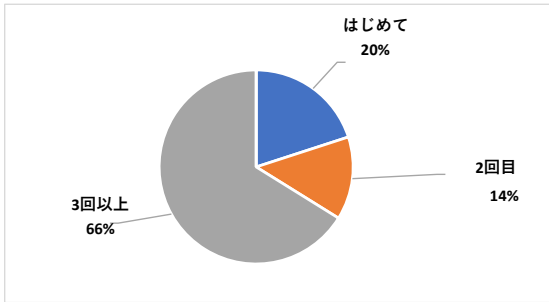
年代

20代	6
30代	4
40代	21
50代	20
60代	10
その他	0
無回答	4
合計	65



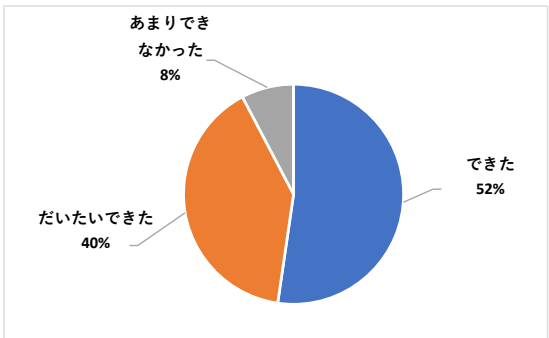
ほたる多職種研修会への参加回数

はじめて	13
2回目	9
3回以上	43
無回答	0
合計	65



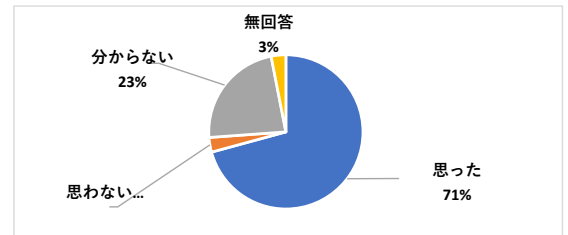
1. 研修会の内容は理解できましたか。

できた	34
だいたいできた	26
あまりできなかった	5
できなかった	0
無回答	0
合計	65



その理由

- ・説明が分かりやすかった。
- ・まだ申込をしたことは無いですが事例や申込フロー等について理解できました。×5
- ・利用者の健康維持に関わる事で興味深い内容でしたが、聞き取りにくさもありました。
- ・立ち上げからの活動の経過を説明していたため。
- ・どのような方々が対象となるか等を確認できた。
- ・リモート会議の為、講師の声が聞き取りにくく資料も手元に届いてないので理解しにくかった。
- ・当日のパワーポイントを見て理解できました。
- ・去年も研修会に参加しましたが、更に理解を深めることができた。
- ・NSTの存在は知らなかったので、大変勉強になりました。
- ・ZOOM参加で音声のとぎれとぎれで聞き取りにくかったため。×4



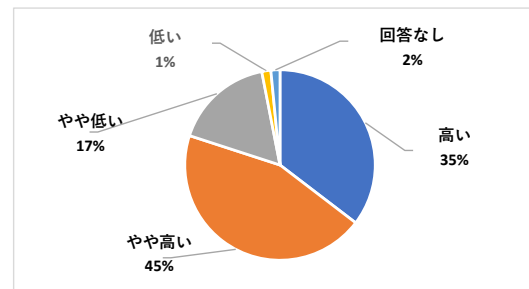
Ⅱ. 南庄内・たべるを支援し隊を実践の中で活用したいと思いましたが。

思った	46
思わない	2
分からない	15
無回答	2
合計	65

- ・主治医の同意はハードルが高い可能性があるため。
- ・対象となり得そうな患者さんを多く拝見するため。
- ・実際、関わっている人で栄養不良なのか体重が極端に減っている方がいる。
- ・在宅で困難な人が居たら活用したい。病院側からケアマネにNST活用した方が良いと伝えられれば良いと感じた。
- ・①経費がかからない ②チームで支援してもらえる
- ・施設の中で取り組み中。
- ・独居の人で栄養状態が良くない人がいるので。
- ・専門職チームで支援して頂ける
- ・食欲はあっても低栄養の方や、疲労感から食事を完食できない方など。
- ・退院後に体調を崩す方に、食の面で専門職からアドバイスが貰えるのは助かります。
- ・要介護状態となった方に低栄養の人が多いため。
- ・肺炎予防策を確認でき、家族介護で困っているかアドバイスしていく。
- ・えん下機能低下や歯の不具合の方も多いので一概にいえません。
- ・在宅の主治医に活動の内容が浸透しないとケアマネから主治医に発信するのが難しく感じます。
- ・再度参加して理解してから考えたい。
- ・活用する事は必要と思いましたが在宅療養者に理解してもらう事は容易ではないと思う。
- ・栄養や口腔内の重要度がまだ一般的に認識されていないと感じるため、専門家の関わりを増やしていきたいと思います。
- ・必要な専門職から訪問していただき、評価を受け、今後の取り組みを提案していただくことは利用者・家族にとって有効だと思いました。
- ・今後食べる意欲を無くしたご利用者様を担当する事があったら是非活用させて頂きたいと思いました。×2
- ・現在、該当なりそうなケースを担当していない為。
- ・該当する方がいる場合には、社会資源として大いに活用したい。×3
- ・認知症や嚥下機能の低下の利用者では、活用してはどうかと思うケースもあったが、症例が少ないことと、利用のタイミングが難しいと感じたから。

Ⅲ. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	23
やや高い	29
やや低い	11
低い	1
回答なし	1
合計	65

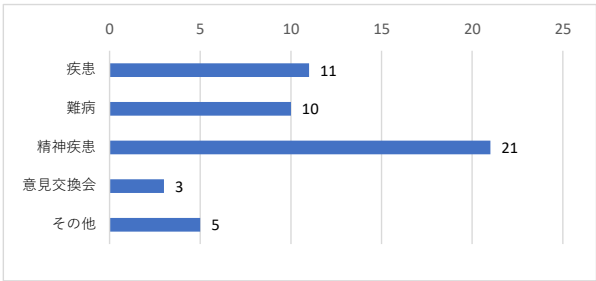


その理由

- ・栄養面へ問題にはさまざまな原因があること。それゆえ多職種の開りが重要であることがよくわかりました。
- ・全体像の把握ができて満足です。各職種の現場に立った介入→実行の実例をより解像度を上げてお話をうかがいたいです。薬剤師として栗原さんのお話に興味がありました。
- ・説明が分かりやすかった。
- ・NSTの存在の情報が得られた。
- ・生きることに欠かせない食について専門職の方の介入が広がると良いと思いました。食べられない生活は悲しい。
- ・ZOOM配信で音声の聞き取りができない部分が多かったため。×11
- ・言語聴覚士や管理栄養士等の専門職の話が聞くことが出来たため。
- ・事例を交えての説明もあり、参考になった。
- ・多職種との連携で食べる事の支援の必要性を感じた。
- ・事例を紹介していただき、事例対象者への支援活動の内容や対象者の課題に対しての提案を知り、参考になった。
- ・ZOOMの研修会にまだなれていない為。

IV. 今後取り上げてほしいテーマについて。（複数回答可）

疾患	11
難病	10
精神疾患	21
意見交換会	3
その他	5



各項目の内容として

- ◆疾患
- ・透析、糖尿
 - ・心臓、循環器
 - ・大腸癌
 - ・肺癌
 - ・心不全
 - ・パーキンソン病
 - ・慢性心不全
 - ・がん疼痛×2
- ◆難病
- ・パーキンソン病
 - ・ALS×3
- ◆精神疾患
- ・認知症
 - ・うつ病×3
 - ・総合失調症×3
 - ・若年性アルツハイマー
 - ・認知症の効果について
 - ・全般
- ◆意見交換
- ・ケアマネ
 - ・往診医、栄養士
 - ・医療職、介護職
- ◆その他
- ・褥瘡改善を含む、栄養、運動を活用した全身状態の改善方法（例えば福村先生症例）
 - ・認知症の種類によつての食の支援の対応。
 - ・コンチネンスケアについて・睡眠障害について

V. その他、研修内容に関する意見や感想

- ・ 私としては、初めての参加となり有益な試みが知れて大変刺激的でした。もっとたくさん学ぶ機会がいただければと思います。ありがとうございました
- ・ NSTのことがよくわかってとても良かったです。是非利用させていただきます。
- ・ NSTが普及すれば良いと感じた。
- ・ ズームでの初めての試みご苦労様です。チャレンジに拍手。我々も慣れていかなければなりません。会場環境はよかったです。
- ・ 初めてのリモート研修だったのかもしれないが、大変そうだった。実際NSTを活用したい人はいるが、日中独居だったり介護力不足の心配があって利用には悩んでおります。
- ・ webでの研修会は続けてほしい。今回は初めて開催する側では大変だったと思う。今後に期待します。ありがとうございました。
- ・ 研修に参加させて頂けありがとうございました。これからも多職種の取り組みや連携について知る機会があれば、ぜひ参加したいです。
- ・ 興味のあった研修内容でZOOMで参加しましたが、ほぼ音声聞き取れず残念でした。×2
- ・ ZOOMでの参加は初めてでしたが、時間を活用出来助かりました。ありがとうございました。
- ・ リモートでの参加でした。研修の内容はとても興味深いものでしたが、ところどころ聞こえづらいところがあり、残念です。「食べるを支援したい」の活動は素晴らしいと思います。事例が聞こえづらかったのですが成功例もあるとのこと参考になります。当然いろいろな専門職がかかわる事になると、私たちのような介護支援専門員のアセスメントから、実際に当事者へ関わっていくまでに段階が必要になるのは理解できます。けれど、認知症初期支援のような「めんどろ」で相談できない、というような敷居の高いものにならにといひのだけれど、という気持ちも率直にあります。私たちの「この方に、しっかり食事をとってほしい」といふ、相談が気軽にできる機関があると心強いと思いました。また、無料の研修なので仕方ないと思いますが、資料は事前に頂けるか、メールでの配布があるとよかったです。
- ・ ZOOM研修は色々な意味で大変勉強になりました。翌日には資料もすぐに配布していただきありがとうございました。駐車場の心配もなく、今後のZOOM研修に期待しております。
- ・ ZOOMの研修は今後さらに必要と思うので、受ける側、する側双方慣れも必要だと思う。今年前半は研修の機会も少なかった。研修は気づきをもらえ